

漁海況情報第7報 (2016年10月13日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

宮城県沿岸の水温は、表面、100m深とも平年並から2℃高めとなっている。

宮城県沿岸の表面水温は、19～22℃台となっています。平年と比較すると、平年並から2℃高めとなっています。

100m深水温は9～16℃台となっています。平年と比較すると、表面同様、平年並から2℃高めとなっています。[P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

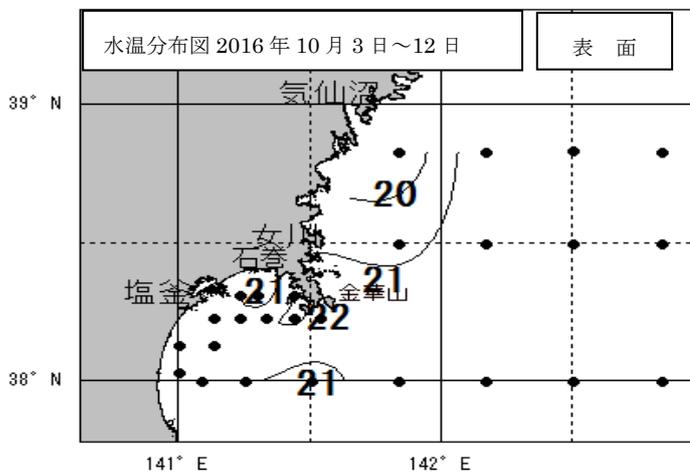
水温鉛直断面図をみると、38° 50′ Nライン、38° 30′ Nライン、38° Nラインとも表面が冷やされて鉛直混合が進み、等温線の間隔が広がってきました [P2. 水温鉛直断面図]。

(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、全般的に水温降下が進んでいます。[P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

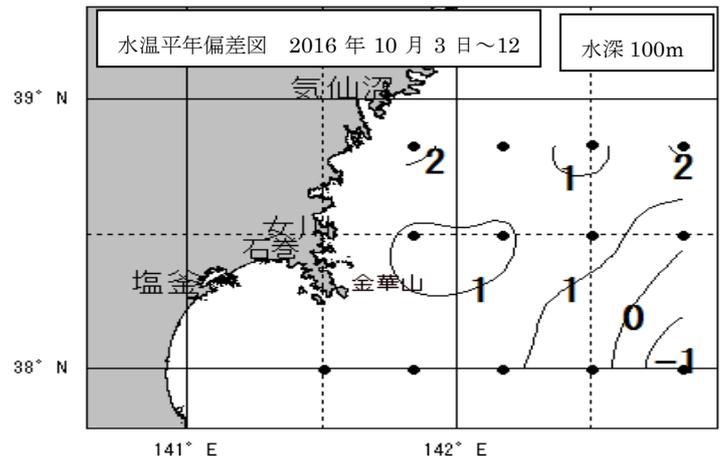
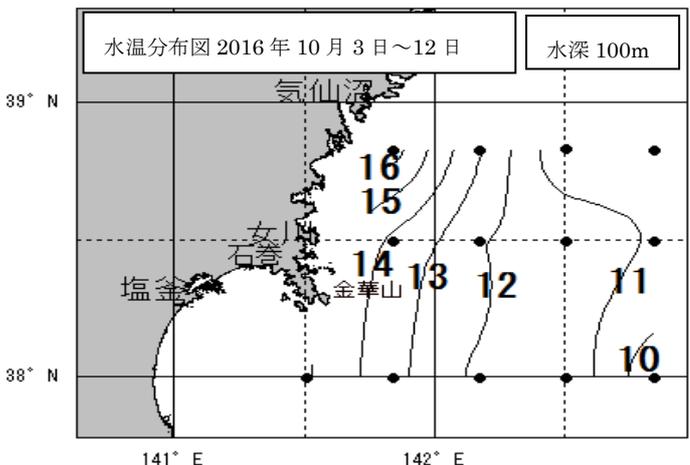
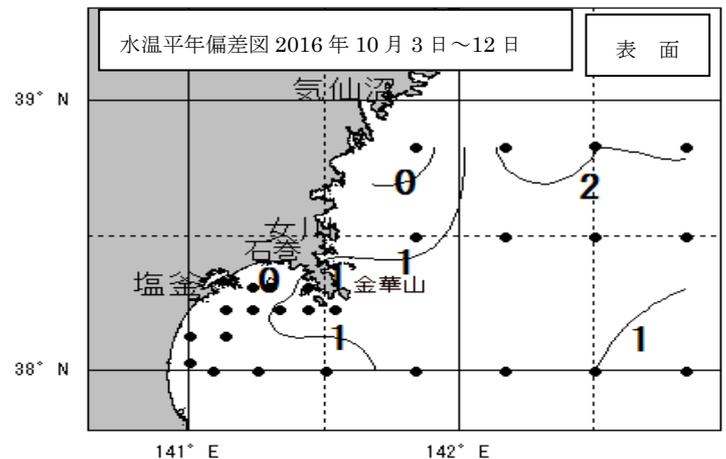
10月上旬の定地水温は19～21℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼、江島で平年並、佐須浜でやや高めとなっています(亘理はブイの不具合により8月3日から観測を休止しています) [P2. 定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、仙台湾で昨年より高くなっています [P3. 海底直上水温図]。

・水温水平分布図

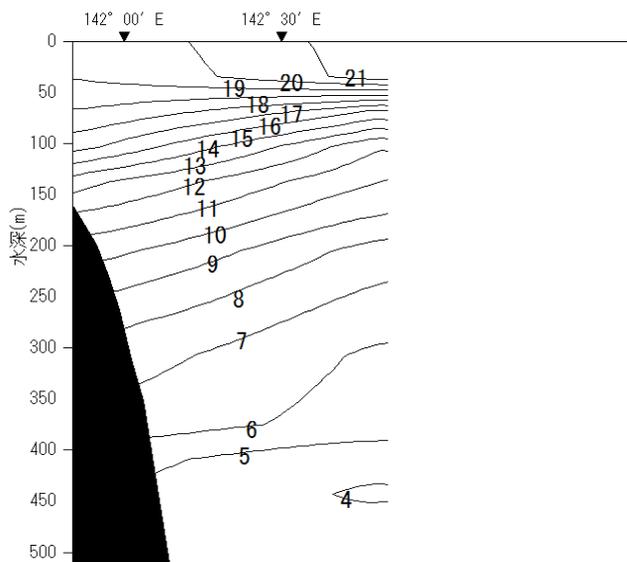


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

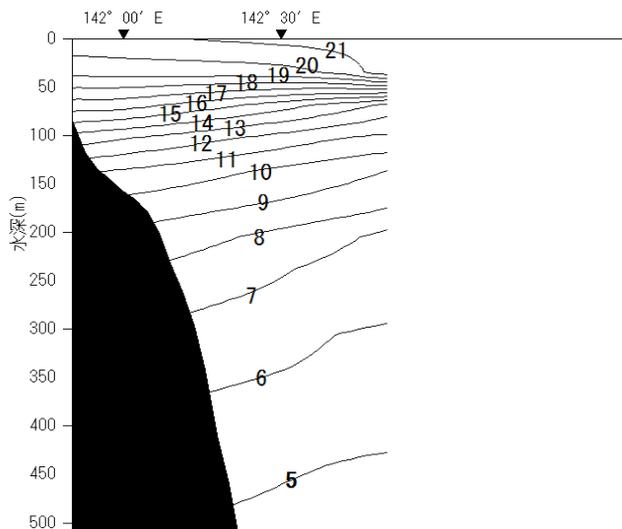


・水温鉛直断面図

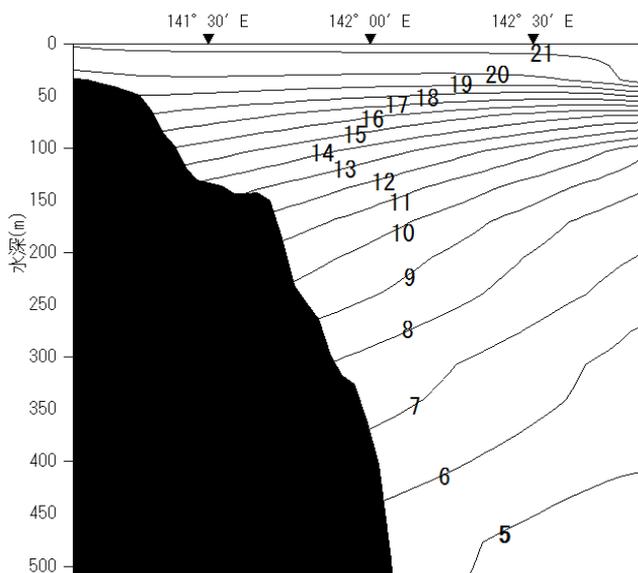
38° 50' Nライン(気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン(雄勝沖合ライン)

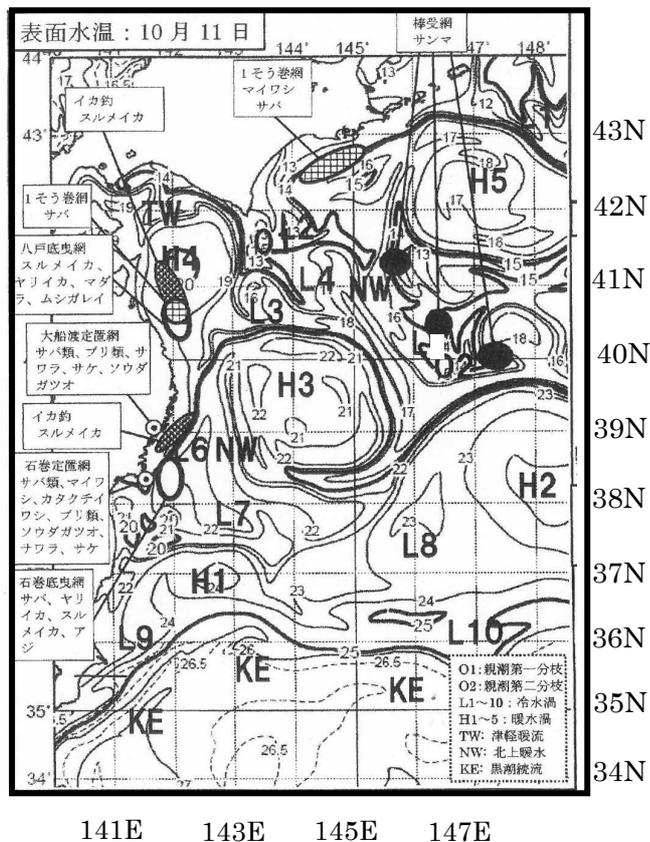


38° Nライン(巨理沖合ライン)



2016年10月11日の東北海道の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

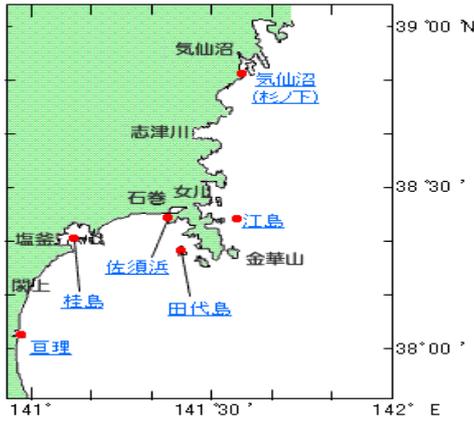
【海況】(10月11日表面水温)

- ・親潮が南下, 黒潮が降温したため, 広範囲で水温が低下。
- ・親潮第一分枝 (O1:15°C以下) は襟裳岬南 41° N まで, 第二分枝は (O2) は釧路沖暖水渦 (H5) の南側を 40° N まで南下。
- ・津軽暖流 (TW) は 19~20°C 台に降温するも暖水渦 (H4) を維持。
- ・黒潮 (KE) は 25~26°C に降温し房総からやや離岸。
- ・沿岸の混合水は 18~19°C 台が下北~石巻湾, 20~21°C 台が仙台湾~常磐, 22~23°C 台が鹿島灘~房総に分布。

【漁況】(10月7~11日)

- ・まき網: 八戸沖で 1 そうまき網はサバ主体, 2 そうまき網はカタクチイワシ主体に漁獲。
- ・定置網: 石巻はサバ類, イワシ類, 大船渡はサバ類, ブリ類, サワラなどを水揚げ。
- ・カツオ竿釣: 金華山周辺漁場で継続。
- ・スルメイカ: 釣りは低調, 八戸底曳網は復調傾向。
- ・サンマ棒受網: 時化のため低調。10月10日から天候が回復し, 10月12日は 2,776 トンを水揚げ。

・ 定地海洋観測



観測点	10月上旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	19.9℃	平年並	0.5℃	1.6℃
江島	19.4℃	平年並	-0.3℃	0.4℃
佐須浜	21.3℃	やや高め	1.1℃	2.5℃
桂島	21.0℃	-	-	2.0℃
巨理	-℃	-	-	-

※田代島と巨理は自動観測装置による観測を中断しています。
 ※平年差
 岩井崎 (30年)
 佐須浜 (10年)
 桂島 (平成24年3月から観測開始)
 巨理 (平成24年10月から観測開始)

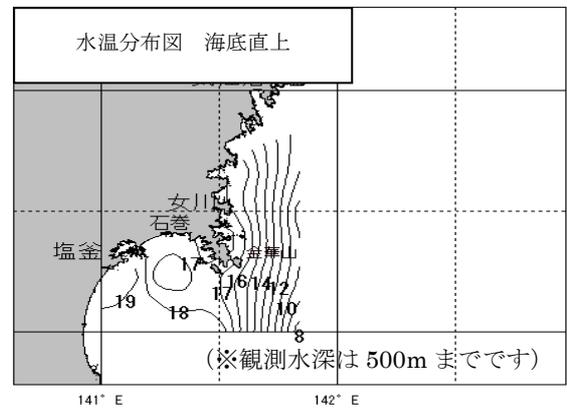
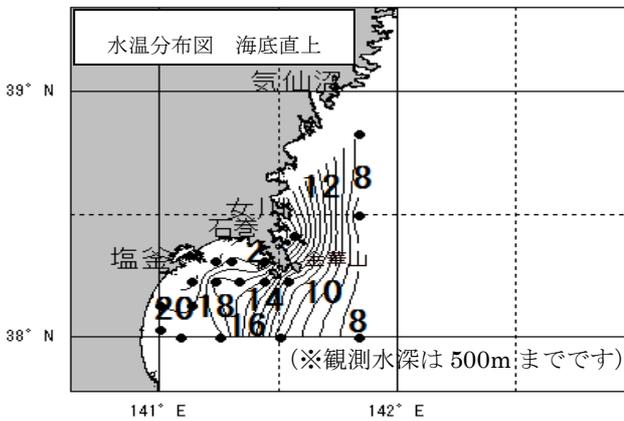
※最新の定地海洋観測結果は、

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201503suion-index.html> でも公開中です。

・ 海底直上水温図

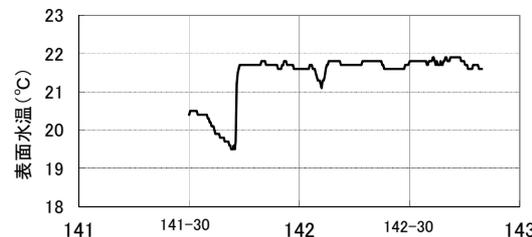
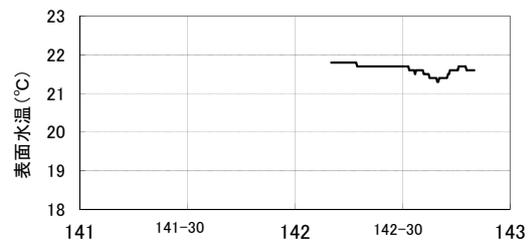
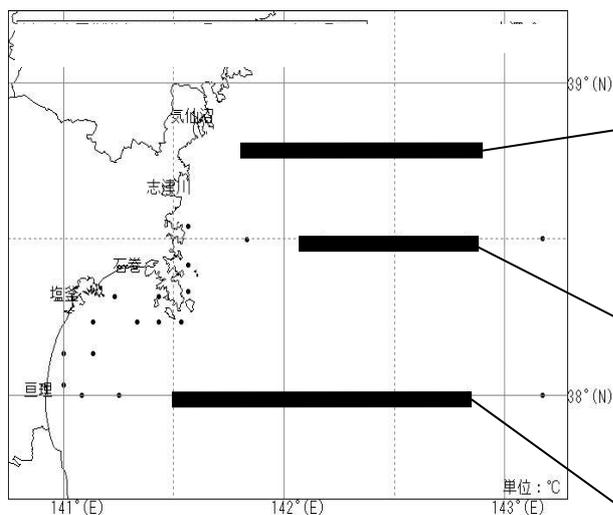
・ 海底直上水温(2016年10月3日~12日)

・ 海底直上水温(2015年10月5日~6日)



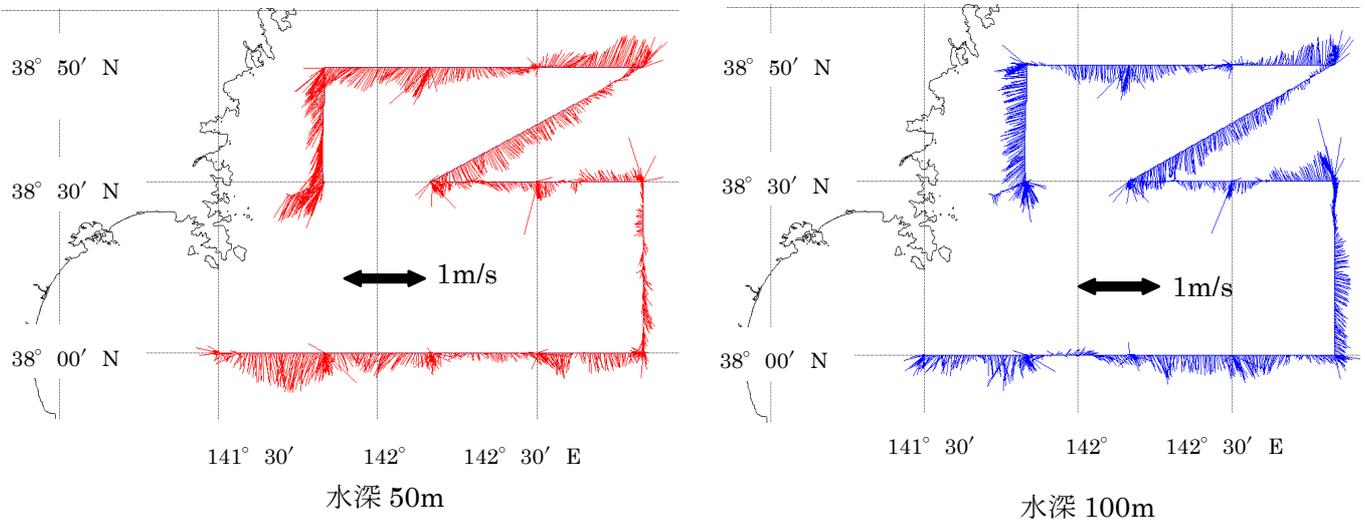
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

平成 28 年 9 月の水揚量を見ると、昨年同月比でクロマグロ、カタクチイワシ、サバ類、サンマが増加しています。一方、それ以外の魚種はスルメイカが前年並みとなっている他は減少しています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成28年9月1日~9月30日)

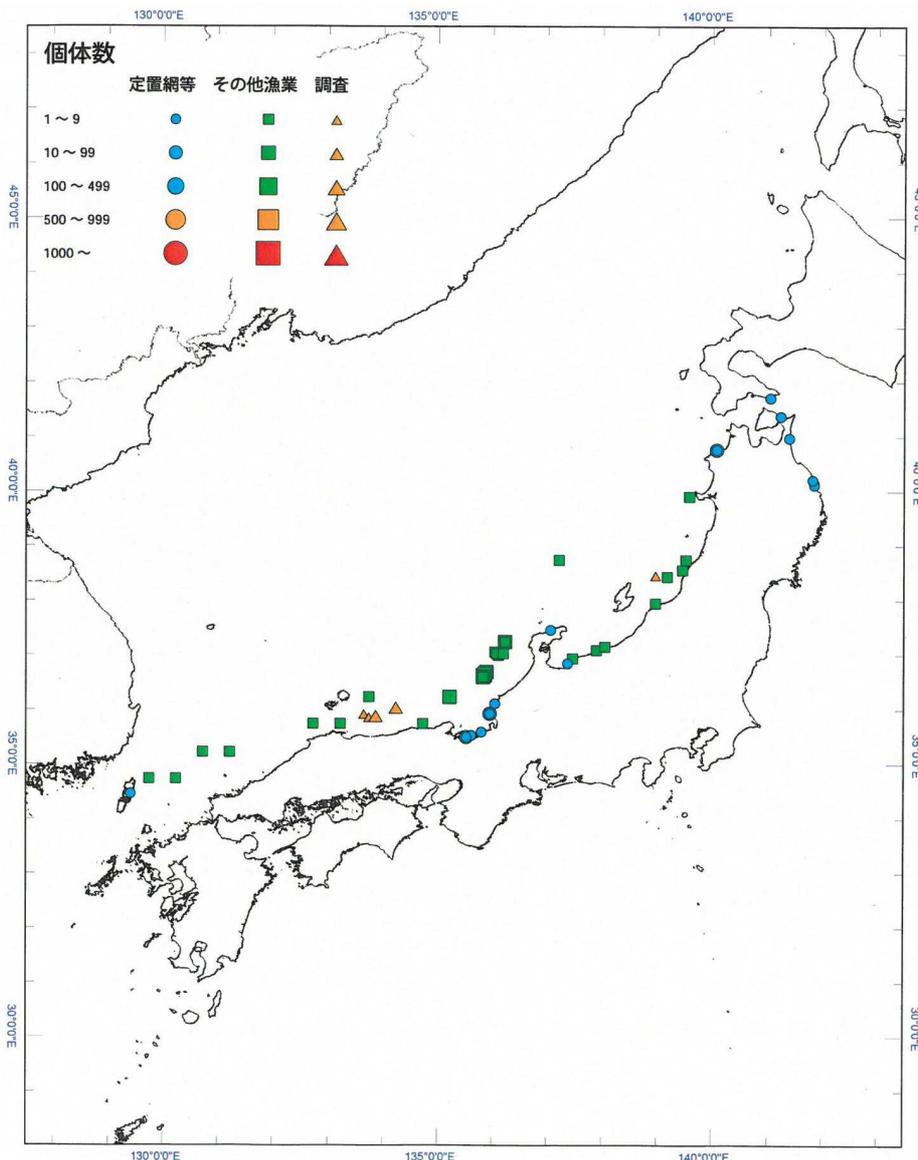
	単位:トン											前年比
	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網 全漁法	イカ釣り	延縄	その他	総計	
カツオ			194		4,718	4			0	3	4,921	69%
ビンナガ									82	0	82	68%
クロマグロ(メジ含む)						7			2	2	11	233%
メバチマグロ(ダルマ含む)			0		0				79	1	80	65%
マイワシ						27				15	42	11%
カタクチイワシ						88				1	89	122%
サバ類	805	5	0			437	1			36	1,284	188%
サンマ				5,060						17	5,078	168%
ブリ	0	0			0	89	0			5	94	66%
マアジ	63	21	0			63	0			6	153	66%
サワラ	0	0	0		0	13	0			0	14	39%
スルメイカ	1,527	4	2			1		3		2	1,539	99%
マダラ	15	0							1	142	158	50%
ヒラメ	0	18					14			2	34	62%
マコガレイ	7	53				0	1			0	62	67%
マガレイ		2					0			0	3	64%
シロサケ	1	0				7	20			42	71	22%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)
 ※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

5. 大型クラゲ情報

(一社)漁業情報サービスセンターによると(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>), 今年は6月下旬から7月上旬に対馬で定置網への入網が確認され, 10月上旬現在, 分布の最先端は津軽海峡を越えて岩手県久慈沖まで達しています。日本海側の定置網, 底曳網への入網は散発的であり, 操業への障害は確認されていませんが, 漁業情報サービスセンターでは山陰～能登～北部日本海にかけて注意を呼びかけています。

今後, 本県にも来遊の可能性があり, 少量でも被害となることもありますので, 当センターでは今後も情報提供を行っていく予定です。



6. 調査船運航計画

みやしお	
10月17日～10月27日	サンマ漁場調査(期間中3日間)
10月31日～11月1日	沿岸定線調査
開洋	
10月24日～10月25日	マアナゴ漁獲調査
10月26日～10月27日	刺し網調査